

舟山やすえ レポート

www.y-funayama.jp



発行元：舟山やすえ事務所

〒990-0039
山形県山形市香澄町3丁目2番1号
山交ビル8階
TEL：023-627-2780
FAX：023-674-0278

2019年
11月25日号

Vol.24

※臨時国会開会中、正しい政治へ方向転換を！

長期政権によるおごりの体質にNOを！



第200回臨時国会が開会中ですが、公職選挙法違反とパワハラ疑惑で、1週間で2人の大臣が辞任し、国会が空転しました。

さらには、安倍総理自らの重大責任が問われる問題として、総理主催の桜を見る会や前夜祭実施をめぐる疑惑が浮上。

これらは、国益ではなく自らの政権維持が目的化した結果というほかなく、安倍総理の政治姿勢や任命責任を引き続き質してまいります。

政策面では、10月1日に始まった消費増税についても、軽減税率により混乱が広がっているほか、キャッシュレス決済の導入も特に地方では広がらず、新たな格差要因となりかねません。

加えて、大学入試への英語民間試験の導入延期決定の発端となった萩生田文部科学大臣の「身の丈」発言も、格差を容認するもので、到底許すわけにはいきません。

こうした政治の歪みを是正し、場当たり的な政策を改めて、暮らしと家計を守り、格差是正につながる政策を実行するために、全力で取り組んでまいります。

「桜を見る会」私物化の事実関係と問題点

- 第2次安倍政権以降、招待者数、支出額が大幅増。
- 野党議員が資料要求した当日に招待者名簿を廃棄。
- 1,000人の安倍総理枠。後援会関係者850人を招待。公金を使った私的接待では？
- 高級ホテルで、会費5,000円の前夜祭を開催。仮に安倍総理側が飲食代金を補填の場合は公職選挙法違反。

日米FTAの問題点を斬る！



臨時国会で、衆議院を通過し、参議院で審議中の日米貿易協定(FTA)について、毎日新聞「政治プレミア」の取材を受けました。近日中に、インタビュー記事が掲載される予定です。

(全文の閲覧には、会員登録が必要です。)



大失敗の「TPP水準ならOK」

勝手にTPP離脱した相手と、TPP並の水準を許容し、交渉開始したのが根本的な誤り。TPP加入を迫ることすらできず、米国主導の二国間交渉を許した結末として、農産物を差し出すことに。

あまりに拙速な交渉・合意

日豪EPAは7年、TPPは7年8ヶ月、日欧EPAは4年8ヶ月。日米FTAはたった5ヶ月。閣議決定も持ち回り閣議。総理や担当大臣の出席が当たり前の署名式も駐米大使で対応。なぜ米国の言いなりに、そこまで急いだのか。

絶望的な自動車関税撤廃

「更なる交渉による関税撤廃」との表現が、いつの間にか、「関税撤廃に関してさらに交渉」にすり替えられた。譲許表からも抜け落ち、このままでは単なる口約束か、日本側の希望的観測に終わるのが必至の状況。

「安全保障上の脅威」をかざす米国

米国が通商拡大法232条による追加関税をちらつかせてきたのは、日本車輸入が「安全保障上の脅威」に値するという理屈。更なる脅威となる関税撤廃で折り合う可能性はゼロに等しい。

米国が大勝ちの不平等条約

日本側の譲許品目は約50ページ分に上り、米国側はわずか9ページ分のみ。農産品のセーフガードの発動水準の見直し時期もTPP11の7年より短い5年。しかも、「発動時には交渉開始」と交換公文でこっそりと約束。青天井で輸入が拡大する恐れ。

協定外のトウモロコシ押し付け

米国からの275万トンの飼料用トウモロコシ購入の理由とされていた害虫被害について、「確認できていない」と農水省が認める始末。激戦州のコーンベルト地帯向けのトランプ大統領の選挙対策に、都合よく使われただけ。

他にも問題点を挙げれば切りがありません。国会で徹底追及します！

現場で働く皆さんと国会で意見交換



数多くの皆様が、研修の一環で国会にお越し下さり、様々な政策課題について意見交換の機会をいただいています。

現場の生の声を関係省庁におつなぎし、国の政策に反映させています。



J A M山形県連(政治学習会)



連合山形地協・議員懇合同視察研修
(働き方改革関係の学習会)



連合鶴岡田川地協(平和と政治研修会)



第一貨物労働組合(政治研修会)

ワークショップで議論



新やまがたひゅーまんらいふフォーラム(通称「ニールフォーラム」)による「女性が輝く社会にするために」と題するワークショップに参加しました。

女性議員がなかなか増えない問題に加え、町内会やPTA活動においても依然として女性が少ない現状や、政治参加の原点である選挙における投票所へのアクセス改善要望など、参加者の実体験を交えながら、活発な意見交換ができました。



農業関係団体主催の各種会合に出席



山形県JA青年組織協議会・女性組織協議会の皆様との
農政問題に関する意見交換会

私の活動の原点でもある農業・農村をめぐる課題解決に向けて、農業委員会や農協など、農業関係の皆様との意見交換を積極的に行っています。

今年度は食料・農業・農村基本計画改定の年。

若い世代の農業者からも、自分たちが地域を支えている自負や、家族農業の重要性、食育への取り組みなどの熱い思いをお聞きしました。

改めて、食料生産の場としてだけではない、地域社会を形成するために重要な産業である農業の重要性がしっかりと国民全体で共有できるよう、一緒に声を上げていきたいと思っています。



山形県JAグループの皆様との意見交換会～次期「食料・農業・農村基本計画」「水田農業政策」について



JAグループ「食料・農業・地域政策確立山形県大会」に出席